

第七十六回
帝國議會
貴族院

國家總動員法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

國家總動員法中改正法律案(政)

委員氏名

委員長
子爵前田 利定君
副委員長
男爵大井 成元君

男爵島津 忠重君
侯爵前田 利爲君
侯爵西郷吉之助君
伯爵橋本 實斐君
子爵大河内正敏君
子爵岡部 長景君
子爵織田 信恒君
水野鍊太郎君
犬塚勝太郎君
宇佐美勝夫君
八田 嘉明君
藤原銀次郎君
塚本 清治君
男爵中川 良長君
男爵大藏 公望君
白根 竹介君
男爵矢吹 省三君
男爵渡邊 汀君
堀切善次郎君
山岡萬之助君
赤池 濃君
小坂 順造君
野村茂久馬君
岩田 宙造君
中山 太一君

昭和十六年二月十三日(木曜日)午前十時
十五分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ委員會
ヲ開會致シマス、先ヅ企畫院總裁ヨリ一應
ノ御説明ヲ御願ヒ致シマス

○國務大臣(星野直樹君) 今回國家總動員
法中改正法律案ヲ提出スルコトニナツタノデ
ゴザイマスルガ、本改正法律案立案ノ趣旨ニ
付キマシテハ昨日日本會議ニ於キマシテ御説
明申上ゲタノデゴザイマスガ、此ノ際更ニ
其ノ眼目トスル所ヲ敷衍シテ申上ゲルコト
ニ致シマスルト、先ヅ總動員法實施以來ノ
經驗ニ徴シマシテ、其ノ不備ナ點ヲ補正致
シマシテ、其ノ運用ニ遺憾ナキヲ期セムト
スルノガ第一ノ點デゴザイマスルガ、同時
ニ現下内外ノ情勢ニ對處致シマシテ、我が
國ノ國力ヲ最高度ニ動員致シマシテ、軍備
ノ充實、國民經濟力ノ急速ナル向上ヲ圖リ
マシテ、併セテ如何ナル事態ニモ對處シテ、
之ガ措置ニ遺憾ナキヲ期スル爲ニ、勞務、
物資、資金ノ各方面ニ互リマシテ、態勢ノ
整備、能率ノ發揮ニ必要ナル統制規定ノ強
化ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、本改正
ノ眼目ハ以上ノ如クデゴザイマスルガ、更
ニ具體的ニ改正ノ要點ヲ申上ゲマスルト、
第一ニハ勞力分配ノ適正ト其ノ能率ノ發揮
ヲ圖ル爲ニ、勞務統制ニ關スル條項ノ強化
致シマシタル點デアリマス、第二ニハ現下
ノ必要ニ鑑ミマシテ、統制物資ノ範圍ヲ擴
大致シマシテ、總動員物資ノミナラズ、必
要ニ應ジマシテハ、物資全般ニ及シ得ルコ

トト致シマシタル點デゴザイマス、第三ニハ
重要産業ニ對スル資金供給ノ圓滑ヲ圖リ、
又萬一ノ事態ニ備フル爲、金融統制ニ關ス
ル規定ヲ強化致シマシタル點デアリマス、第
四ニハ産業ノ能率ヲ發揮セシムル爲ニ現有
ノ技術、設備等ヲ最モ必要トスル方面ヘ集
中ノ利用セシムル途ヲ拓キタル點デアリ
マス、第五ニハ重要産業ノ整備ヲ圖リ、其ノ能
率ヲ向上セシムル爲ニ、産業統制ニ關スル
基本條項ノ整備ヲ行ツタ點デアリマス、第
六ニハ物價統制ニ關スル條項ヲ擴充致シマ
シテ、現在統制ノ及バザルモノニモ之ヲ及
シ得ル體制ヲ備ヘマシテ、物價政策遂行ノ
完壁ヲ期シタル點デアリマス、第七ニハ惡
質ナル經濟統制違反ニ對處スル爲ニ罰則ノ
一部ヲ強化シタル點デアリマス、尙各條ニ
互リマシテ改正ノ要點ヲ申上ゲマス、現行
第五條ノ規定ハ國民ノ總動員業務ニ對スル
協力確保ヲ目的トスル規定デアリマスルガ、
其ノ協力ヲ命ズベキ業務ハ現在ハ國又ハ地
方公共團體ノ行フモノニ限ラレテ居ルノデ
アリマス、併シナガラ各種重要産業ノ能率
向上ノ爲、是等ニ對シマシテモ技術上或ハ
經營上協力ヲ行ハシメル必要アル場合ガ認
メラレマスルノデ、國家總動員上必要アル
場合ニ於キマシテハ、政府ノ指定スル者ノ
行フ總動員業務ニ付キマシテモ、協力ヲ
命ジ得ルヤウ規定ヲ擴張セムトスルモノデ
アリマス、次ニ第六條デゴザイマスルガ、
勞務統制ノ根據法規デアリマスル、第六條
ハ、現在規定ノ建前ト致シマシテ雇傭主ニ

對シマシテ其ノ從業者ノ使用、雇入又ハ解
雇ニ付必要ナル命令ヲ爲シ、或ハ其ノ從
業者ノ賃金、其ノ他ノ勞働條件ニ付テ所要
ノ統制命令ヲ爲シ得ルコトト致シテ居ルノ
デアリマスルガ、單ニ專業主ノ雇入人ノミ
ニ義務ヲ課スルノデハ勞務統制ノ徹底ニ
缺クル所ガアリマスルノデ、併セテ從業者
ヲモ命令ノ對象ト致シ、直接ニ強制ノ措置
ヲ講ズル爲、新タニ從業者ノ就職、從業又
ハ退職ニ付テ所要ノ命令ヲ爲シ得ルコトト
致シタル點デアリマス、之ニ依リマシテ時
局下特ニ緊要ト認メラレル事業ヘノ勞務ノ
充足ニ努メルト共ニ、作業能率ノ向上ヲ圖
リ、兩々相俟ッテ戰時ニ於ケル生産力擴充ニ
遺憾ナキヲ期セムトスル次第デアリマス、
次ニ賃金ノ外ニ給料ト云フ文字ヲ追加シ、
勞働條件ヲ從業條件ト改メマシタルハ、從
業者ノ中、勞働者ノ外所謂職員ニ屬スル給
料生活者ノ給料、其ノ他ノ從業條件ニ付テ
モ所要ノ統制ヲ行フノ必要アリト考ヘタノ
ニ因ルノデアリマス、次ニ第八條ノ規定ヨ
リ總動員ナル文字ヲ削リマシテ、總動員物
資ノミナラズ其ノ他ノ非總動員物資ニ付テ
モ、統制ノ措置ヲ及シ得ルコトト致シマシ
タルハ、今次事變ノ經驗ニ徴シマシテ、物
資ノ統制ハ單ニ總動員物資ノミノ統制ヲ以
テシテハ不十分ナルコトガ明カニナツタ爲デ
アリマシテ、現在ハ是等ニ對シマシテハ、
昭和十二年ニ制定サレマシタル輸出入品等ニ
關スル臨時措置法ニ依テ多數ノ非總動員物
資ニ對シテ統制ノ行ハレテ居リマスコトハ

御承知ノ通りデアリマス、本改正ニ依リマシテ總動員物資タルト、非總動員物資タルトヲ問ハズ、廣ク統制ノ對象ト致シ、以テ物資統制ノ徹底又調整ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、次ニ第十條ニ於キマシテ總動員物資ヲ使用又ハ收用シ得ルモノノ範圍ヲ擴張致シマシテ、政府ノミナラズ總動員業務ヲ行フモノニ對シマシテモ、使用又ハ收用ノ權限ヲ付與シ得ルコト致シマシタノハ、現在ノ情勢ニ鑑ミマシテ民間ノ企業者ニ對シマシテモ、必要ニ應ジマシテ直接總動員物資ヲ使用又ハ收用シ得ベキ權限ヲ與ヘルコトヲ適當ト認メタニ因ルデアリマス、次ハ第十一條ノ後段ニ於キマシテ、債務ノ引受又ハ債務ノ保證ニ付テ必要ナル命令ヲ爲シ得ルコト致シマシタノハ、金融統制ノ實際ニ鑑ミマシテ、銀行ニ對シマシテ融資命令ヲ發動スルノ外ニ、之ニ對シマシテ債務ノ引受又ハ保證ヲ命ズル方ガヨリ效果ノ目的ヲ達シ得ル場合ガ多クアルコトヲ考ヘタカラデアリマス、尙ホ本追加規定ノ活用ニ依リマシテ、萬一ノ場合、經濟界ノ不安ヲ防止スル效果ヲモ期待シテ居ルデアリマス、次ニ第十三條末項ヲ改正致シマシテ、總動員業務ヲ行フ者ヲシテ、土地又ハ家屋、其ノ他ノ工作物ヲ使用又ハ收用セシメ得ルコトニ致シマシタノハ、第十條ニ於キマシテ御説明申上ゲタノト同様ナ趣旨ニ基クモノデアリマス、第十四條ノ改正ニ於キマシテ、總動員業務ヲ行フ者ヲシテ、特許發明又ハ登録、實用新案ヲ實施セシムルコト致シマシタノハ、優秀ナル技術ヲ最モ有效ニ活用スルコトニ依リマシテ、生産力ノ増強ニ資セムトスル趣旨ニ出ヅルモノデアリマス、第十五條ノ改

正ハ第十三條ノ改正ニ相應スルモノデアリマシテ、總動員業務ヲ行フ者ヲシテ、土地又ハ家屋其ノ他ノ工作物ヲ收用セシメタル場合ニ於テモ、舊所有者、又ハ其ノ一般承繼人ヲ保護スル爲、其ノ優先買受ケノ權利ヲ認メタモノデアリマス、第十六條ノ二ハ今回新タニ追加セラレタル規定デアリマス、資材不足ノ現狀ニ於キマシテ、重要産業ノ生産力向上ヲ圖リマス爲ニハ、從來ノ規定ノ如ク是等ニ對シマシテ、事業設備ノ新設、擴張、改良ヲ命ズルノミデハ十分ナル效果ヲ庶幾スルコトガ困難デアリマス、仍テ本條ノ規定ヲ設ケマシテ、現存設備ヲ最モ有效ニ利用セムトスルモノデアリマス、即チ之ニ依リマシテ、或ハ經營ノ合理化、或ハ遊休設備活用ノ目的ノ爲、事業設備又ハ事業ニ屬スル權利ノ讓渡、其ノ他ノ處分、出資ヲ命ジ、或ハ重要設備ニ付テ其ノ移動ヲ制限シ、又ハ不用不急用途ニ使用スルコトヲ制限、禁止スル等、既存設備ノ活用上遺憾ナカラシメタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、第十六條ノ三モ前條同様新タニ追加セラレタルモノデアリマス、必要ニ應ジマシテ、特定ノ事業ノ開始ヲ制限又ハ禁止ヲ致シマスルト共ニ、生産計畫並ニ技術的見地ヨリ見マシテ、必要アル場合ニ於キマシテハ事業ノ委託、共同經營又ハ讓渡、或ハ廢止又ハ休止ヲ命ジマシテ、産業ノ整備統合ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、法人ノ目的變更、合併又ハ解散ニ關スル命令ヲ爲シ得ルコト致サムトスルノモ全く同一ノ目的ニ出ヅルモノデアリマス、第十七條ノ規定カラ「總動員業務タル」ノ字句ヲ削リマシタノハ、國家總動員實施ノ現段階ニ於キマシテハ、總動員業務タル事業タル

ト否トヲ問ハズ、事業統制ノ對象トスルコトヲ適當ト認メタルニ因ルモノデアリマシテ、之ニ依リマシテ一切ノ事業ノ事業主間ニ於ケル統制協定ニ付テ所要ノ命令ヲ發動シ得ルコト相成ルデアリマス、第十八條ノ改正ハ、事業統制實施ノ範圍ヲ總動員業務ノミナラズ一般事業ニモ及シマスルト共ニ、之ガ爲ニ鞏固ナル團體ヲ結成セシメ、以テ産業能率ノ増進ト其ノ自主統制ノ實ヲ舉ゲシメムトスル趣旨ニ出ヅルモノデアリマス、第十八條ノ二及ビ第十八條ノ三ハ、第十六條ノ二ト第十六條ノ三及ビ第十八條ノ規定ニ依ル事業ノ整理統合ヲ圓滑ニ遂行セシムル爲ノ補完的規定デアリマス、第十八條ノ二ハ事業ノ整理ニ際シマシテ、設備權利等ノ處理ニ關聯シテ起リマス債務及ビ擔保ノ處理ニ付キマシテ、特別ノ便法ヲ講ゼムトスル基本的法規デアリマス、第十八條ノ三ハ、第十六條ノ二、第十六條ノ三及ビ第十八條ノ場合ニ於キマス課稅標準ノ計算ニ關シマシテ特例ヲ設ケ、或ハ是等ノ場合ニ租稅ノ減免ヲ爲シ得ルコト致シマシテ、以テ命令ノ實施ヲ圓滑ナラシムルト共ニ、法人ノ合併、團體又ハ會社ノ設立又ハ活動ヲ容易ナラシムルガ如ク致シタノデアリマス、第十九條ノ改正ノ趣旨ハ、物價統制實施ノ經驗ニ鑑ミマシテ、單ニ價格、運賃、保管料、保險料、賃賃料又ハ加工賃ニ對スル規定ノミデハ完全ニ物價統制ヲ行フトコガ困難デアリマス、總テノ價格現象ニ付キマシテ、統制ヲ加ヘムトスル趣旨ヨリ修繕料其ノ他一切ノ財産ノ給付ヲ統制ノ對象トラシメ、以テ價格統制ノ完璧ヲ期セムトスルモノデアリマス、第二十七條ヲ改正致シマシタノハ、第十一條ノ改正並ニ第十六

條ノ二及ビ第十六條ノ三ノ規定ノ追加ニ因リマシテ、補償ニ關スル規定ヲ設クル必要ガ新タニ生ジテ來タコトト、第十條、第十三條ノ第三項及ビ第十四條ノ規定ノ改正ニ因リマシテ、政府以外ノモノノ補償ノ責任ニ付テモ之ヲ明カニスル必要ガアルコトニ基クモノデアリマス、第二十九條ノ改正ハ、第十五條ノ規定ニ依リ總動員業務ヲ行フ者ノ收用致シマシタ土地物件ニ付テモ優先買受權ヲ認メマシタ結果、政府ノ拂下價格及ビ總動員業務ヲ行フ者ノ賣渡價格ニ付キマシテモ、總動員補償委員會ノ議決ヲ經ベキモノト致シタノデアリマス、第三十一條ノ二ハ、物資及ビ物價統制ノ違反ニ對スル罰則ノ強化ヲ目的トシテ設ケタ規定デアリマス、是等ノ違反事件中ニハ相當惡質又ハ大規模ナル犯罪モ少クアリマセヌノデ、現行三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ヲ重ク致シマシテ、十年以下ノ懲役又ハ五萬圓以下ノ罰金ニ改メタノデアリマス、第三十三條ハ第三十一條ノ二ノ新設ニ伴フ條文ノ整理デアリマス、第三十四條、第三十五條及第三十八條ノ改正ハ第十六條ノ二及第十六條ノ三ノ規定ノ新設、第三十一條ノ二ノ規定ノ追加並ニ第十八條ノ改正ニ伴フ改正デゴザイマス、第四十五條ノ改正ハ、第十八條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リマシテ設立セラレマシタル統制目的トスル團體又ハ會社ハ重要ナル統制業務ヲ行フモノデアリ、從テ是等團體又ハ會社ノ役員及使用人ハ他ノ會社又ハ個人ノ業務上ノ秘密ニ關與スル場合多キヲ慮リマシテ、之ガ漏泄又ハ竊用ヲ處罰スルコトニ致シタ次第デゴザイマス、第四十六條ノ改正ハ、前條改正ノ趣旨ト同様、第十八條ノ團體又ハ會社ノ統

制業務ニ於ケル重要性ニ著眼致シマシテ、役員ノミナラズ使用人ノ收賄等ニ付テモ之ヲ處罰致スコトヲシ、以テ統制事務ノ公正ナル遂行ヲ確保セムトシタノデアリマス、第四十八條ノ改正ハ、第三十一條ノ二ガ追加セラレマシタノニ伴フ改正デゴザイマス、以上各條ノ御説明ヲ申シタノデゴザイマスガ、

今回ノ改正ニ依リマシテ、本法ヲ更ニ強化整備シマスレバ、本會議ニ於テ御説明申上ゲタ通り、如何ナル事態ガ到來スルモ、能ク之ニ處シテ國家ノ全能力發揮ニ遺憾ナ

キヲ期シ得ルモノト考ヘテ居リマス、勿論法規ノ濫用ヲ致シマスコトハ嚴ニ慎ムベキコトデアリマスガ、殊ニ本法ハ其ノ本質ニ

鑑ミマシテ、特ニ其ノ運用ヲ慎重ニスベキコトハ言フ俟チマセヌ、現在迄國家總動員

法ニ基ク勅令ノ公布セラレマシタルモノハ既ニ五十餘ノ多キニ達シテ居リマスガ、何

レモ本法ニ基イテ設ケラレマシタル國家總動員審議會ノ慎重綿密ナル審議ヲ經マシテ

制定セラレマシタモノデアリマシテ、是等ノ法令ガ現下ノ時局下ニ於キマシテ、國家

總動員ノ目的ノ達成ニ大イナル働キヲ爲シテ居リマスコトハ茲ニ改メテ申上ゲル必要

モナイト考ヘマス、政府ト致シマシテハ今後モ愈々本法ノ運用ヲ慎重ニ致シマスト共

ニ必要ニ應ジマシテハ躊躇ナク之ヲ發動致シマシテ、以テ時局對處ニ遺憾ナキヲ期シ

タイト考ヘテ居ル次第デアリマス、以上御説明ヲ申上ゲマシタ、何卒御審議ノ上御協

賛アラムコトヲ切望致ス次第デアリマス

○委員長(子爵前田利定君) 此ノ際資料ノ御要求ガアレバ御申出願ヒタイと思ヒマ

ス、何時デモ御申出ニナッデモ差支アリマセヌガ、申上ゲテ置キマス、ソレデハ是ヨ

リ質疑ニ入リタイと思ヒマス、御質疑ノアル方ハ此ノ際御質疑ヲ願ヒタイと思ヒマス

○中山太一君 衆議院ニ提出サレマシタ資料ヲコナラニモ便宜上皆廻シテ戴キタイ

思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 只今御廻シスルト云フ政府ノ御申出デゴザイマス

○男爵大藏公望君 今回ノ總動員法改正法ハ非常ニ重要ナ法案デアリマス、殊ニ此ノ

中ノ第十六條、第十七條、第十八條ト云フモノガ其ノ中心カト考ヘラレマスルガ、其

ノ中デ私共ガ感ジマシテ、最モ劃期的ノ改正デアルト考ヘラレマスモノハ、從來ハ總

動員法ノ内容ハ主トシテ總動員業務タルモ

ブニ限ラレテ居ル、ソレガ今回ハ第十七條ニ明瞭ニアリマスル如ク「總動員業務タル」

ヲ削リマシテ、總テ事業ニ當嵌マル、謂ハバ國家ガ總テノ企業ヲ勝手ニ或ハ統合、或

ハ廢止、共同經營、讓渡ト云フヤウナコトヲ爲シ得ルト云フコトニナリマスルノデ、

結果ニ於キマシテハ殆ド國民ノ企業ヲ悉ク政府ノ手ニ一任スル、謂ハバ政府一任法案

デアルト云フ風ニ考ヘラレル點ニアルト思フノデアリマス、私共今日ノ場合ニ於キマ

シテ、斯カル改正ガ行ハル、コトハ極メテ適當デアリマシテ、已ムヲ得ナイト云フ言

葉ハ或ハ適當デナイカモ知レマセヌガ、眞ニ事情已ムヲ得ナイカト考ヘルノデアリマ

シマス趣旨ハ二ツアルノデアリマス、今日ノ非常時ニ於キマシテ、一番大事ナコトハ

近衛首相モ度々言ハレマシタヤウニ、本當ノ一億一心ニナル、官吏モ國民モ悉ク一心

一體ニナルト云フコトデアリ、其ノ實現ヲドウスルカト云フコトガ一番大事ナコトデ

アル、斯ウ考ヘマスルノデ、其ノ頭ニ於テ種々ノ質問ヲシテ見タイト云フ風ニ考ヘル

ノデアリマス、私共ノ感ジデハ今日迄事變以來諸種ノ統制ガ行ハレ、民間ニ對シテハ

種々制限ヲ加ヘラレ、是ハ當然デアリマスルガ、併シナガラ一方官界ニ對シテ

ハ殆ド何等ノ訂正ガ加ヘラレナイ、政府御自身ハ少シモ自分自身ヲ御改ニナラ

ズニ、民間ニ向ツテハ今回ノ總動員法ノ如キ非常ニ強イ力ヲ以テ、御命令ヲ爲サ

ル立場ニ居ラレ、此ノ問題ハ私ハ今回初メテ申上ゲルノデナクテ、昭和十三年ノ第

一次近衛內閣ノ時分ニモ、亦次ノ平沼內閣ノ時分ニモ、本會議ニ於テ官界ノ新體制ヲ

本會議ノ議場ニ於テ質問申上ゲタ、何レモ新體制ヲ採ルコトノ必要ヲ御認ニナリナガ

ラ、先般ノ僅カバカリノ官界登庸ノ御改正以外ニハ何等ノ實ガ擧ツテ居ラス、民間ニ對

シテハドン／＼種々ノ強制的ノ改正ガ加ヘラレ、甚ダ片手落ノ感ジヲ致スノデアリマ

ス、果シテ是デ宜イノダラウカト云フコトヲ考ヘマスルト、勿論現在ノ行政機構若シ

クハ官吏制度ニ於キマシテ、何等ノ缺陷ガナイモノナラバ、敢テ改ムル必要ハナイノデアリマスルガ、併シナガラ是カラ申上ゲ

トニ關シ稍、具體的ニ是カラ質問申上ゲタイと思フノデアリマス、實ハ此ノ質問ハ今般總動員法改正法律案ガ出マシタ時分ニ、

昨日本會議デ申上ゲヨウカト考ヘタノデアリマスガ、併シ官民ノ相剋ト申シテハ相濟

ミマセヌガ、餘リ好クナイヤウナコトヲアノ議場カラ申上ゲルノモ如何カト考ヘマシ

タノデ此ノ委員會ニ於テ御伺ヒスル次第デアリマス、ドウカ政府ノ御答辯ハ此ノ場限

リデナク、今後御同意ニナリマシタコトハ、總テ改正ヲ實施スルト云フ御覺悟ニ於テ御

答辯ヲ願ヒタイシ、又其ノ中ノ或部分ハ若シ國務大臣ガ此ノ席デ直チニ御回答ガ出來

ナケレバ能ク總理大臣ト御協議ノ上更メテハツキリシタ御返事ヲ得ルト云フ風ニ御取

計ヲヒテ願ヒタイノデアリマス、私ノ質問セムトスルコトハ、第一ガ行政機構ノ問題

第二ガ行政機構運用ノ問題、第三ガ官吏制度竝ニ其ノ運用ノ問題、三段ニ互ツテ御伺ヲ

シタイト考ヘルノデアリマス、第一ノ行政機構ノ問題、是ハ確カ阿部內閣ノ時デアリ

マシタカ、ドウシテモ總理大臣ノ權限強化ガ必要デアルト云フ建前カラ、謂ハバ作文

ノヤウナモノヲ御發表ニナリマシテ、以テ總理大臣ノ權限強化ニ資スル所アルヤウニ

爲サツヤウニ記憶シテ居リマスルガ、併シナガラ現在ノ憲法ニ於キマシテ輔弼ノ責任

ヲ總理大臣、各大臣ガ各、別々ニ持ツテ居ルト云フ建前ニ於キマシテハ、アノヤウナ唯文章ノ御發表デハ實現ガ出來ナイ、今日ニ至

リマシテ、尙總理大臣ノ權限強化ト云フコトハ、必要ハ認メラレナガラ實現ハサレテ居ラナイノデアリマス、ト私ハ考ヘルノデアリマス、第一ニ總理大臣ノ權限ヲ強化スル必要ガアルヤ否ヤト云フコトニ關スル答

辯ヲ先ゾ願ヒタイノデアリマスガ、ソレニ關シマシテハ更ニモウ少シ附加ヘテ申上ゲタイ、總理大臣ノ權限ヲ強化スルコトハ總理大臣自身ノ力ニ依ルノダト云フコトノ普通ノ説明ハ尤モデアリマスガ、併シナガラ總理大臣御自身、一個人ノ個人的力ト云フコトモ大事デアリマスルガ、又組織其ノモノニ於キマシテモ、總理大臣ガ各省ヲ十分ニ統制スル力ヲ御持チニナルコトガ、斯ク總動員法案ガ強化セラレ、政府ニ總テ一任サレル場合尙必要デハナイカ、甲ノ省ト乙ノ省ノ間ニ意見ノ對立ガアリ、一人ノ大臣ガ主張シタコトガ他ノ大臣ニ依ッテ容レラレナイト云フ風ノ時分ニ致シマシテモ、ソレハ多クノ場合、大臣ト大臣ノ問題デナク、下ノ官僚ト官僚ノ問題、ドウシテモ總理大臣ノ御手許ニ於テソレ等ノ問題ニ對シ或ハ方針ヲ與ヘ、或ハ意見ノ相違ヲ直スト云フダケノ機構ヲ持ッテ居ラレルニアラズンバ、唯單ニ總理大臣ガボンヤリト統裁スルト云フ譯ニハ到底參ラヌト云フ實情ニアルト思フノデアリマス、從ッテ其ノ意味カラ申シマスルト、現在ノ總理大臣ノ直接下ト云フモノハ極メテ無力、ト申シテハ甚ダ恐縮デスガ、力ガ足ラヌト云フ感ジテ他カラ見マシテ尙痛切ニ感ズルノデアリマス、恐ラク當局自身モ其ノ點ニ付テハ痛感シテ居ラレルノデハナイカト云フ風ニスラ考ヘルノデアリマス、現在總理大臣ノ直接下ニアル機關ハ、有力ナモノトシマシテハ、法制局竝ニ企畫院、之ニ内閣書記官長ガ參加シテ居ラレマスガ、機構トシマシテハ法制局竝ニ企畫院、之ニ内閣書記官長ガ參加シテ居ラレマスガ、機構トシマシテハ法制局

ニ關シマシテハ何等之ヲ統制スル力ヲ持ッテ居ナイト同時ニ、豫算ニ關シマシテハ長年ノ間大藏省ニアリマシテ總理大臣ガ之ヲ握ッテイラシヤル譯デハナイ、此ノ弊ニ鑑ミテ確カ星野國務大臣ガ滿洲ニイラシヤル時分ニハ、滿洲ニ於テハ日本ノ内閣ニ相當スル部門ニ豫算ノ事務ヲ御執リニナッタヤウニ承知シテ居リマスルガ、日本ニ於テモ斯ク或ハ人事、或ハ豫算、法制ト云フ風ナモノヲ一手ニ掌握シテ、強力ナル總理大臣ノ「ブレイン・トラスト」ヲ作ラレルト云フコトガ非常ニ必要ナ時代ニナッテ參ッタノデハナイカ、從來必ズシモ必要トハ申シマセヌガ、サウ云フ時代ガ參ッタノデナイカト云フ氣ガスルノデアリマス、第一ニ此ノ點ニ付テ御答辯ヲ伺ヒマシテ、次ノ問題ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

○國務大臣(星野直樹君) 只今ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、總理大臣ノ、今日ノヤウナ時代ニ及ビマシテ、政府ノ決定ト云フモノガ、總理大臣ガ大所高所カラ見タ決定ト云フ、力強イ決定ガ敏速ニ行ハレルコトガ必要デアルト云フコトニ付テハ、誠ニ其ノ通りデアラウト思ヒマス、之ニ依ッテ始メテ今日ノヤウナ時勢ニ對處シテ行クコトガ出來ララウト思フノデアリマス、併シナガラ其ノ場合ニソレヲ實現スル方法ト致シマシテハ、只今大藏男爵ノ仰ッシヤッタ御言葉ニモ、權限強化ト云フ御話ガゴザイマシタガ、必ズシモ此ノ權限強化ト云フ、權限ト云フ點デ、是其ノ趣旨ヲ達スルノガ適當カドウカト云フコトニ付テハ、多少疑問カト思ッテ居リマス、要スルニ現在ノ狀態ニ於キマシテモ、總理大臣ハ閣議ノ首班ト致シマシテ、國家ノ大事ハ首班トシテ決定スル

居ルノデゴザイマシテ、是モ御話ノヤウニ全般ノ行政ト云フモノヲ調整統合スルヤウナ風ニ漸次改正セラレテ居ル譯デゴザイマシテ、現在ノ處、法規其ノ他ノ點カラ申シマスレバ、先ヅ現在ノ規定、現在ノ法制ト云フモノヲ完全ニ活用致シテ參リマスレバ、所期ノ目的ヲ達スルノデハナイカ、斯ウ存ジテ居リマス、御話ノヤウナ、例ヘバ豫算ト云フモノニ付キマシテモ、勿論豫算ノ決定ニ付キマシテハ、大藏大臣ノ權限、所管ニ屬スルコトデハゴザイマスルガ、併シ矢張り此ノ豫算成立ニ當リマシテ、之ニ對シテ大所高所ヨリノ決定ト云フモノハ、總理大臣ニ提出致シマシテ、サウシテ閣議ノ重要ナル參考ニスルト云フコトノ組織ニハナッテ居ル譯デゴザイマス、結局實際ノ是等ノ活用ガウマク行ッテ居ルカ居ナイカト云フコトノ結果ハ、是ガ批判ハ他人ニ存スル譯デゴザイマスルガ、大體今日政府トシテ努ムル所ハ、色々今日ノ時局ニ鑑ミマシテ、眞ニ閣議ノ實質ノ本當ノ眞價ヲ發揮スルコトニ努メ、又總理大臣ノ「スタッフ」トシテ設ケラレマシタ各機關ト云フモノガ其ノ眞ノ力ヲ發揮スルヤウニ努メテ行クト云フコトガ、今日ノ要點アラウト思ッテ居リマス、之ニ依リマシテ、只今大藏男爵ノ仰セラレマシタヤウナ效果ヲ期待スル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵大藏公望君 御話ノ通りニ、運用サヘウマク行ケバ何モウマク行クト云フコトハ、全然其ノ通りデアリマシテ、果シテ運用ガウマク行ッタ力カナカタカト云フコトハ問題ダト思ヒマス、極端ナ例カラ申シマスレバ、先般作ラレタ厚生省ニシマシテモ、内務省文部ノ運用サヘウマク行ケバ、

厚生省ヲ作ル必要ガナイ、矢張り厚生省ヲ作ル必要ガ生ジタカラ作ラレタ、總テ運用サヘ宜ケレバト云フ御議論ニナリマス、何モ新シイ機關ト云フモノハ必要ガナクナルノデヤナイカト考ヘルノデアリマス、併シナガラ世ノ中ガ進歩シテ参リマシテ、又時勢ガ斯ウ云フ風ニ窮迫シテ参リマスルト、矢張り單ニ運用ノミニ依頼スル譯ニ参ラス、矢張りソレノ必要ノ機構ト云フモノハ、是ハ整備スル必要ガアルト云フコトニナリマスルト、果シテ現在ノ程度ノ總理ノ「ブレン・トラスト」デ十分ニ其ノ目的ヲ達成シ得ルカト云フ點ニ付キマシテハ、私ハ疑問ヲ持ツノデアリマス、從ッテ御話ノ、唯運用サヘ宜ケレバト云フ御説明デハ満足出來マセヌノデ、内閣ハ現在考ヘテイラシヤル、殊ニ先般近衛内閣ノ基本國策要綱ニ於キマシテ、「行政ノ運用ニ根本的刷新ヲ加ヘソノ統一敏捷トヲ目標トスル官界新體制ノ確立」、斯ウ云フ大ナル目標ヲ掲ゲテイラシヤル中ニ、矢張り此ノ點ヲ御考ヘニナルベキデヤナイカト考ヘマスルノデ、果シテ考ヘテイラシヤルカ如何カト云フコトニ對シマシテ、甚ダ恐縮ナガラ、モウ一度御考ヲ願ヒタイ、今直グドウ斯ウ云フト云フコトデナクテモ、サウ云フ點ヲ十分ニ考ヘル御考ガアリヤ否ヤト云フ點ニ付テノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○國務大臣(星野直樹君) 能ク御話ノ點ハ分リマシタ、勿論現在ノ制度ト云フモノガ是ガ萬全ナリト必ズシモ考ヘテ居ル譯デハゴザイマセヌ、一面ニ於キマシテ是等ノ制度ニ付キマシテモ、他ノ各省ノ制度ト關聯致シマシテ、ドウシテモ考ヘナクチャナラス點ガアルト思ヒマス、併シ又一方ニ於キマシテハ現在ノ制度ヲソレデハ完全ニ運用シテ居ルカト云フ點ニ付キマシテ、私共其ノ局ニ當ッテ居ル者ト致シマシテハ、大イニ考慮スル餘地ガアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノモ事實デゴザイマシテ、一方ニ於キマシテハ出來得ル限リ此ノ活用ヲ圖リマスルト共ニ、一方ニ於キマシテハ制度、殊ニ此ノ制度ニ付キマシテハ他ノ各省ノ制度ト云フモノト關聯致シマシテ、十分考慮致シマシテ、更ニ改善スル必要ガアル點ニ付キマシテハ、改善致シタイ、斯ウ存ジテ居リマス。

○男爵大藏公望君 次ニ御伺ヒシタイノハ、所謂經濟參謀本部ノ問題デアリマス、今回ノヤウニ非常ナ大キナ御改正ニナリマスルト、經濟ノコトニ關シマシテハ、是モ悉ク政府ノ氣ノ儘ニ總テガ動カサレル、其ノ時分ニ、現在政府ニ於カレマシテハ經濟ニ關スル中樞機關ト云フモノガ、謂ハバナイト申シテハ言ヒニクイカ知レマセヌガ、頗ル散在シテ居ルト云フ風ニ考ヘル、現在ノ企畫院ハ其ノ中樞機關デアラレルト云フコトニ付キマシテハ承知致シテ居リマスルガ、併シナガラ現在ノ企畫院ノ力ヲ以テ、日本ノ全體ノ經濟ヲ動かサゲケ十分ノ力アリヤ否ヤ、是ハ星野國務大臣ガ企畫院總裁デイレッシヤイマスノデ御伺ヒシニクイノデアリマスケレドモ、企畫院ハ元々總動員物資ノ計畫ニ付テノ主トシテ御管掌デアリマシテ、同時ニ企畫院第一部、第二部ノ如ク、其ノ他ノ物ノ方面ニモ御關係ニナルト云フコトハ承知シテ居リマスルガ、併シナガラ此ノ程度ヲ以テ日本中ノ總動員物資以外ノ物ヲモ御取扱ニナル、日本中ノ經濟大變革ト云フモノヲ現在ノ企畫院ノ程度ニ於テ御取扱ニナリマスルコトハ、ソコニ

相當ノマダノ弱サを感じテ居ラレルノデハナイカト云フ風ニ端カラ見エルノデアリマス、經濟參謀本部ト申シマセウカ、經濟ニ關スル企畫院ノ強化ト申シマセウカ、矢張りシツカリシタ經濟ノ中樞機關ガ出來マセケレバ、國民モ安心シテ、アスコデヤルノダト云フ風ナ氣ニナラスト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ如何ニ考ヘラレマスルカ、御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○國務大臣(星野直樹君) 誠ニ御尤ナ御質問ト、斯ウ思ッテ居リマス、現在殊ニ經濟ノ問題ニ付キマシテハ、非常ニ専門的ニモナリマシタシ、發達ニ連レマシテ、非常ニ經濟ノ特殊ノ特質ト云フモノガ段々出テ参リマシテ、又ソレガ非常ニ複雑多岐ニモナッテ参ッタノデアリマスガ故ニ、此ノ運用ト云フコトニ付キマシテ、現在ノ制度ト云フモノガ十分デアルカ、殊ニ只今大藏男爵ノ仰セニナツタヤウニ、分散的ニ過ギヤシナイカト云フ御質問ニ對シマシテハ、是ハ誠ニサウ云フ缺點ガアルト、斯ウ存ジテ居リマス、之ニ付キマシテハ、先程モ申シマシタヤウニ、固ヨリ總理ノ結局裁決ト云フコトニ、仰グコトニナル譯デゴザイマセウガ、併シマア裁決ト云フコトハ最後ノコトデゴザイマシテ、要スルニ適當ナル綜合ガ常ニ平時ニ行ハレテ居ルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、之ニ付キマシテハ現在ノ企畫院ノ組織ヲ以テ、或ハ制度ヲ以テシテ十分デアルカト云フコトニ付テハ、必ズシモ十分ハ存ジテ居リマセヌ、併シ是ガ一面ニ於テハ官界ノ各官廳間ノ分裂ト云フコトデゴザイマス、一面ニ於テハ今日ニ於キマシテハ、經濟ニ關スル左様ナ點ハ各官廳トノ

間ノ綜合ト云フコトノミナラズ、官民ノ眞ノ一致ト云フコトガ出テ來ナケレバ、矢張り到底眞ニ經濟ノ中心トナルニ適當シナイノデヤナイカト云フコトモ考ヘテ居リマス、左様ナ意味ニ於キマシテ、是ハマアドウ云フヤウナ形ニナリマスルカ知レマセヌガ、將來ノ行政機構ト言ヒマスカ、運用ノ改正ト云フコトニ當リマシテハ、是非内閣ノ中樞ト云フモノニ、矢張り日本全體ニ於キマスル經濟上ノ先達ノ方々ノ意見ヲ十分ニ容レ、又ソレ等ノ人ノ忌憚ナキ意見ヲ吐クト云フヤウナ施設ト云フモノヲ考ヘル必要ガアルノデヤナイカト、斯ウ思ッテ居リマス、サウシマシテ一方ニ於キマシテハ、官界各方面、一方ニ於テハ官民ト各方面ノ力ヲ綜合シテ行クト云フヤウナコトヲ考ヘルコトニ依リマシテ、始メテ我が國ノ經濟ノ運行ト云フコトニ……總理大臣モ是等ヲ基礎ト致シマシテ始メテ強力ナル指導施設ガ出來ル、斯ウ云フヤウニナルト斯ウ存ジマス。

○男爵大藏公望君 官民協力ト云フコトニ關シマシテハ、何レ後カラ行政機構ノ運用ノ問題ノ時分ニ更ニ向ッテ見タイト思ッテ居リマスガ、御話ノ通り、ドウシテモ左様ニナラナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、併シナガラソレニ致シマシテモ、ドウモ内閣ノ經濟ニ關スル中樞機關ト云フモノハ、其ノ運用ニ於テ官民協力ヲナサルニシマシテモ、現在ノ儘デハ非常ニ力ガ弱イト云フ感ジガ與ヘラレマシテ、是デ果シテ若シヤノ人數デ、アノ機構デ以テ日本全體ノ經濟ガ動カサレルダラウカト云フコトヲ考ヘル點ニ於テ、非常ニ不安ヲ感ズルヤウナ氣ガスルノデアリマス、ソレデ今質問申上ゲタノデアリマス、今ノ御答辯チヨットハッキリ

致シマセシタカラ、將來サウ云フコトモ考ヘルノダト、サウ云フ風ニ了解致シマシテ、次ノ問題ニ入リタイト思ヒマス、第三ニハ今日本ノ最モ必要ナル物資ト云フモノハ言フ迄モナク石炭及鐵ダヤナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、ドウモ此ノ重要産業ニ關シマシテ一元的ノ最高責任官廳ガナイノデヤナイカ、是ハ他所ノ國ノ御話ヲスル譯ダヤアリマセスガ、當然スカル大事ノ物ニ對シマシテハ、臨時ニ一省グライ設ケラレマシテ、サウシテ徹底的ニ其ノ生産擴充ヲ圖ル、或ハ商工省ノ澤山色々トヤッテイラッシャル部分ノ一部分ニ於テ御考ニナル程度ノ輕イモノデヤナイデヤナイカ、斯カル時局ニ於テ矢張り特別ノ責任官廳ヲ作ラレルト云フコトガ必要デヤナイカト斯ウ考ヘルノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○國務大臣(星野直樹君) 大體御趣旨ノ點ハ御尤モデアリマス、現在大體ニ於テ石炭、鐵ハ共ニ商工省ヲ中心トシテヤッテ居ルノデアリマスガ、唯併シ内外地ノ關係、或ハ現在日本ト致シマシテハ、殊ニ鐵、石炭ニ付キマシテハ、日本ノミナラズ滿洲支那ト云フモノヲ併セ考ヘナケレバナラヌト云フ點ガゴザイマス、殊ニ鐵ノ如キハ其ノ點非常ニ大キイノデアリマス、是等ハ非常ニ考ヘナケレバナラヌコトデヤナイカト考ヘテ居リマス、之ニ付キマシテハ最近ハ矢張りソレノ各機關ガ多少分屬シテ居ルヤウナ傾向ガゴザイマス、色々ソレニ對シテハ考ヘテハ居リマスガ、併シ出來ル限り形式ヲ離レテ、兎ニ角實質的ニモ一箇所ガ中心トシテ行ハレナケレバナラヌト云フコトニ付テ努力致シテ居ルノデゴザイマス

○男爵大藏公望君 之モ先程御話ノヤウニ運用サヘ宜ケレバト云フコトニ歸著スルノデアリマスガ、併シナガラは程重大ナ物資ノ運用ノ點ニ任セテ宜イカト云フコトヲ考ヘマス、矢張り政府トシテハ是コソ官界新體制ノ一ツトシテ主力ヲ何處ニ注グノダト云フコトヲ御示ニナルベキデハナイカト云フ風ニ考ヘテ只今ノ質問ヲ致シタノデアリマス、此ノ點モ亦相當ニ考慮シテ居ルト云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマス、次ニ伺ヒタイノハ之モ行政機構ノ問題デアリマス、東亞共榮圈ノ全體ノ經濟的、文化的又ハ政治的ノ指導發達ヲ圖ル所管官廳ガ今日無イ、是ハ勿論分散シテ居リマス、外務省ト拓務省ニ南洋局ガ出來テ居ルト云フ風ナ形デ各方面ニ分散シテ居ル、ソレデ宜イダラウカ、若シクハ興亞院或ハ對滿事務局ト云フヤウニ非常ニバラ／＼ニ分散シ、或モノハ省トナリ、或モノハ内閣ニ直屬シテ居ルト云フ形ニ於テ、誰モ之ヲ取纏メテ本當ニ東亞全體ノ、殊ニ經濟ノ問題ヲ專門ニ考ヘテ居ル官廳ガナイト云フコトハ今日ノ時代ニハ非常ニ大キナ機構上ノ缺陷デハナイカト考ヘラレノデアリマス、ソレ等ノモノヲ或ハ統合シ、或ハ連絡セシメテ、サウシテ矢張り東亞全體ニ關スル、殊ニ經濟ニ關スル中心官廳ヲ御作ニナルコトガ此ノ際最モ機宜ニ適シタコトデヤナイカ、斯ウ考ヘマスガ、如何デアリマセウカ

○國務大臣(星野直樹君) 其ノ點モ誠ニ御尤モト思ヒマス、其ノ點ニ付キマシテハマア是ハ………チヨット速記ヲ止メテ戴キタイ

○委員長(子爵前田利定君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(子爵前田利定君) 速記開始

○男爵大藏公望君 只今ノ御説明デ大體了

承致シマシタガ、唯委員會程度ノモノガ從來示シマシタ成績ニ依リマス、非常ニ力ガ弱イモノデアリマシテ、責任ガソレコソ全ク分散シテ、誰ガ本當ニ日夜其ノ問題ヲ考ヘテ居ルカ分ラヌト云フ程度デアリマスコトガ委員會制度ノ缺點ト思ヒマス、ドウカ此ノ點ハ單ニソレデ御始ニナルダケナラバ結構デアリマスガ、ソレヨリ進ンデ矢張り日本ガ東亞ノ「ゲモノ」ヲ握ルト云フ立場ニ於キマシテハ是非外ノ國ノ者ガ見マシテモ、アソコデハアレガ本當ニ中心ダト云フヤウナ日本ガ熱意ヲ示サナケレバナラヌト私ハ考ヘマスガ、此ノ點ハ十分ニ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙其ノ他各地方廳ノ總務部デアリマス、地方ノ行政ノ問題デアリマスガ、是ハ大分色々各方面デ質問サレタヤウデアリマス、略シマシテ、次ノ行政機構ノ運用ノ問題デアリマス、ドウモ先程運用サヘ良ケレバト云フ御話デアリマスガ、今日ノ運用ハ随分マズイ、缺點ガアルト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、例ヘバ餘リニ認可事項、許可事項ト云フ風ナモノガ多クテ、サウシテ民間ノ者ガ其ノ爲ニドノ位支障ヲ生ジテ居ルカト云フコトハ既ニ御承知ノコトト思ヒマス、ソレガ民間ノ經濟ニ與ヘテ居リマス、支障ハ非常ニ多イノデアリマシテ、是ハドウシテモ出來ルダケ簡易化スル、若シクハ是カラ御考ニナリマスルヤウナ民間ノ經濟團體ガアリマスナラ、ソレニ委セテ置ク、政府トシテハ餘リ細カイコトヲ爲サラスト云フ風ニ爲サル方ガ宜イノデハナイカ、大イニ運用サヘ良ケレバト云フ言葉デハ割リ切レナイノデス、ドウシテモ政府自體ニ於テ本當ニ民間ト協力スルト云フ

御考ニ付キマシテハ、斯カルコトニ付キマシテモ眞先ニ政府ガ其ノ範ヲ御示ニナルト云フコトノ御考ガナイデアリマセウカ、私ハ是ハ極メテ大事ナコトト思フノデアリマスガ、先ヅソレニ付テノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(星野直樹君) 是ハ誠ニ御尤モデアリマシテ、一番役所ノ改正スベキ點ハ色々ノムヅカシイコトヨリモ、其ノ點ガ一番大キナ問題デヤナイカト思ヒマス、ソコデハマア總理カラモ、衆議院デゴザイマシタカ、其ノ點ヲ總理カラモ言明シテ居ルノデアリマスガ、出來得ル限り役所ノ認可事項其ノ他ニ付テモモウ一遍反省致シマシテ善處シタイ、出來得ル限り簡易化スルト云フコトニ努メテ行キタイト思ヒマス、ソレニハ只今ノ御話ノヤウナ矢張り民間ノ經濟團體ト云フヤウナモノガ強力ニナリマシテ、自ラ相當ノ裁斷ヲ爲シ、又相當ノ、之ニ委セテ置ケルト云フヤウナコトニナルコトガ一番大切ナコトデアアルト思ッテ居リマス、今回經濟新體制ト云フヤウナモノノ趣旨モ實ハソコニ主トシテアルノデアリマス、今回ノ總動員法ノ改正其ノ他ニ付キマシテモ其ノ點ヲ十分考ヘ入レテ居ル譯デアリマス、漸次民間ノ強力ナ經濟團體ノ設立ト云フコトニ連レマシテ、政府ノ許可ト云フヤウナモノハ強力デアルガ、併シナガラ瑣末ニ互ラナイト云フ風ナコトヲ趣旨トシテ漸次集約シテ行キタイ、斯ウ存ジテ居リマス

○男爵大藏公望君 次ハソレニ關聯スル問題デアリマス、窓口行政ノ統一ト申シマセウカ、現在民間カラ政府ニ向ッテ陳情スル時分ニ一箇所デヤ濟マナイ、多クハ二十、

三十モノ多キニ互ル、殊ニ政府部内ニハ惡イ癖ガアリマシテ、ドウモ責任ヲ輕視スルヤウナ風ガゴザイマシテ、法律ヲ出サレル場合ニ主務大臣ト書イテアリマスガ、其ノ主務大臣ハ誰ダト云フ時分ニソレハ二人モ三人モアリマス、今回ノ健力地下鐵道營團ノ法案デアリマスガ、是モ主務大臣ガ誰カト聽キマスト云フト鐵道大臣ト内務大臣ト云フノデ、ドウモ長官ノ權限爭ヒノ問題カラハッキリト誰ガ責任者ト云フコトヲ御決メニナラナイ、私ノ聞イテ居リマス範圍デハ、例ヘバ鐵道關係ガ多イノデアリマスガ、鐵道ノ如キハ多クノ府縣ニ跨ガツテ走ル、其ノ時分ニ同ジコトヲ一々各府縣ニソレノ頼マナケレバイカス、御願ヒシナケレバイカス、一ツノ縣ガ聽カナイ時分ニハ其ノ仕事ガ駄目ダ、殊ニ「バス」ノ如キニナリマスルト、各關係ノ警察署長ノ一々承認ヲ得ナケレバナラスト云フノデ、窓口行政ト云フモノハ皆支離滅裂ニナツテ居ルト云フ風ニ感ジテ居ルノデアリマス、謂ハバ、或一ツノ問題ニ關シテドノ官吏ガ責任ヲ持ツテ居ルカト云フコトガハッキリ致シマセス、又一省内ニ於キマシテモ事務官ニ話ヲシ、課長ニ話ヲシ、局長ニ話ヲスルト云フ風デ、誰ニ話ヲシタラ其ノ問題ガ解決スルカト云フコトガハッキリ分ラナイノデアリマス、是ハ民間人カラ見マシテ、矢張り事務ノ擔當責任者ノ所在ガ明カデナイトイケナイ、本當ノ責任者ニ其ノ問題ヲ取扱ハシメナケレバナラス、併シナガラ其ノ責任者ガ自分デ決メル譯ニハ無論參リマスマイ、責任者自身ガ各方面ニ交渉ヲシテ、兎ニ角民間ニ對シテハ一本ノ責任ヲ持チ、自分ガ責任ヲ持ツヤウニシナケレバイカス、例ヘバ今ノ鐵道ニ

致シマシテモ、其ノ所在ノ府縣ナラ府縣デ責任ヲ取ル、アトノ方ハ其ノアトノ府縣ガ交渉ヲ持ツト云フ風ニ致シマシテ、兎ニ角窓口行政ノ統制ト云フコトハ民間ニ皆非常ニ要望ガアルノデアリマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ近ク改善ヲ御加ヘニナリマスル御考ガアリマセウカドウデセウカ

○國務大臣(星野直樹君) 是モ誠ニ御尤ナコトデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテモ、今御話ノ點ニ付テハ非常ニ大キナ問題ト云フヨリハサウ云フ問題ガ一番大キナ問題ダラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス、此ノ點モ既ニ總理ガ衆議院デゴザイマシタカ、民間ノ歸趨ヲ迷ハシムル點ガナイヤウニ、行政ノ運用ヲ改革スルト云フコトヲ申シテ居リマスルノハサウ云フ意味ナンデス、先般商工農林ノ間ノ色々調整ヲ致シマシタ時ニモ、主トシテ斯ウ云フコトニ到達スルト云フ風ナ趣旨デ出來タノデアリマス、尙將來各省ノ間ニ漸次行政機構其ノ他ノ改善ニ當リマシテモ斯ウ云フ趣旨ヲ盛リタイ、更ニ又行政機構ヲ改ムル範圍内ニ於キマシテモ、民間ノ者カラ參リマスルモノハ一箇所ヘ留メルト云フコトハ、是ハ絕對ニ必要デアルノデアツデ、是非サウ云フ風ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 此處デ又ソレニ關聯スル問題デアリマスルガ、ドウモ現在デハ各官廳ノ陳情受附ノ部署ガハッキリシテ居ラヌ、堂々タル會社ノ社長ガ一々事務官ノ所ニ陳情ニ行カレマス場合、謂ハバ相當年配ノ者ガ子供ノヤウナ年配ノ者ニ叱ラレテ居ル狀態ヲ見マスルト、果シテアレデ宜イダラウカト云フ氣ガスルノデアリマス、何カ陳情受附ノ部署ヲハッキリシテ、其處デ責任ヲ以テ返辭スルコト云フ風ニシテ、一事務官、或ハ一課長デハ濟マナイ、ドウシテモ數課長ヲ經ナケレバ濟マナイト云フコトハ止メテ、サウシテ矢張り政府ハ民間ノ聲ヲ正シク聽イテ、サウシテ十分處理シテ行クヤウナ制度ヲ御作リニナリマセヌケレバ、現在ノヤウナ弊ハ改マラナイト考ヘマスガ、之ニ關シマシテハ何カ御考ガアリマセウカ

○國務大臣(星野直樹君) 是モ誠ニ御尤ナコトダト思ヒマス、唯マア是ハ陳情スル方ニ致シマシテモ、成ルベク自分ノ言フ所ヲ、一ツマア其ノ握ツテ居ル所ヘ行キタイト云フコトデ參ラレルノデアリマスガ、マア別ニ役所ノ方デ色々シテ貰ヘナクテモ結局ハ來ルコトニナリマスガ、併シ其處ハ矢張り只今ノ御話ノヤウニ成ルベク一箇所ニ、而モソレガ成ルベク上層ノ者ガ民間ノ色々聲ヲ聽イテソレヲ捌イテ行ク、其處デ事務ヲ執ル者ト、マア謂ハバ民間ニ接スル者トノ其ノ仕事ト云フモノガ截然ト分レマシテ、官民俱ニ能率ヲ上ゲテ行クヤウニスルコトガ一番必要ナコトダラウト思ツテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテモ、先程ノ窓口行政ノ統制ト云フヤウナコトニ關聯シテ居リマスガ、是非サウ云フ趣旨ヲ以テ運用ノ改善ヲ圖ツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 次ニ先程御話ガアリマシタ官民協力ノ重要性ニ付キマシテハ、既ニ御話ガアリマシタノデ申上ゲナイ積リデ居ルノデアリマスガ、是ガ今日一番ノ大事ナ問題デハナイカ、私共ガ考ヘマスルト、内閣ハ固ヨリ、各省各局ニ或ハ參議、或ハ顧問或ハ參與或ハ委員會委員ト云フヤウナ形ニ於キマシテ民間人ガ參加スル、今日迄

ノ委員會ト云フモノハ、私モウ十數年委員會ニ關係シテ居リマスガ、殆ド全部決定力ノナイ、唯參考ノ委員會ト云フノガ多イノデアリマス、民間ニ於キマシテハ此ノ委員會ノ不評判ハ隨分澤山アリマス、矢張りサウ云フ委員會ハ必要ナノモアリマセウガ、無用ナ委員會ヲ御整理ニナツタ御努力ニ對シマシテハ大イニ敬意ヲ拂ヒマス、尙一方ニハ有力ナ委員會ヲ御作リニナルコトモ必要デアリマセウ、若シクハ其ノ他ノ形ニ於テ各方面ノ民間人ノ參加ヲ求メテ、本當ニ其ノ意見ヲ聽ク、「ロボット」ニスルノデハナイ、飾リ物ニスルノデハナイト云フヤウナ實ヲ御示ニナルコトガ非常ニ必要デハナイカト考ヘラレルノデアリマス、突如トシテ今後色々ナ法制ガ出マセウ、出ル時分ニソレハ十分ニ民間人ノ意見モ聽イタノダト云フ形ナラバ、納得ガ出來マセウガ、唯官廳ダケデ御作リニナリマシタモノガ出マス、非常ニ不安ヲ生ズルト云フヤウナコトニナルト考ヘルノデアリマシテ、現在以上ニ民間ノ參加ヲ求メル制度ヲ御作リニナルコトガ必要デハナイカト斯ウ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テノ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス

○國務大臣(星野直樹君) 先程モ申上ゲマシタ通り全然同意見デゴザイマス、只今御話ノヤウニ一方ニ於キマシテハ、委員會ノ整理ト云フコトハ何レ法案トシテモ提出致スコトニナツテ居リマス、是ハ現在百數十ト云フ委員會ガ出來テ居リマスガ、却テ其ノ爲ニ本來ノ目的ニモ到達シナイト云フ部分モゴザイマス、併シ此ノ整理致シマスコトハ、官民協力ト云フコトノ必要ヲ決シテ認メヌ譯デハナイノデアリマシテ、更ニ今

第四部第一三類 國家總動員法中改正法律案特別委員會議事速記第一號 昭和十六年二月十三日 貴族院

七

日ノ實情ニ眞ニ即應致シマシテ、活力ノアル委員會、或ハ強力ナル方法ヲ講ジヨウト云フヤウナ趣旨カラ出テ居ルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ、企畫院ノ制度ナシカモ割合ニ能ク出來テ居ルト思ヒマス、是ハ當初此ノ制度ヲ作ラレタ方ノ用意周到ナ所カラ出テ居ルノデアラウト思ヒマスガ、參與ノ制度デゴザイマストカ、或ハ各種專門委員ノ制度ト云フヤウナ、ナカ／＼良イ制度ガアルノデアリマス、是等ヲ十分活用シテ行クト云フコトヲ私ノ狭イ範圍デハ考ヘテ居ルノデアリマス、廣ク各役所ガ斯ウ云フ制度ト云フモノヲ用ヒテ行クトガ必要デハナイカト思ッテ居リマス

○男爵大藏公望君 是モ御努力下サルト云フ御話デ誠ニ結構デアリマス、例ヘバ、今ノ企畫院ノ御話デスガ、大變ウマク行ッテ居ルト云フ御話デアリマスガ、現ニ企畫院議會ト云フモノガ出來テ居リマス、私モ其ノ委員ノ一人デアリマスガ、一遍モ御開キニナラナイ、名前ハ存シテ居リマスガ、最近ニ於テハ少シモ開キニナラス、少シモ活用サレテ居ナイ、其ノ額觸レハ相當ナ人達デアリマシテ、是ハ御活用ニナル御意思ガアルナラバ、十分ニ活用ガ出來ルト思フノデアリマス、諸種ノ委員會ガ確カ廢サレタト思ヒマスガ、マダ是ハ廢サレタト云フ御通知ヲ受ケテ居リマセス、企畫院ガ現ニ御作りニナリマシタ企畫院議會ノ如キ有力ナモノデスラ、實際ニ御活用ニナラナイ、何ノ爲ニ作ッタノカ譯ノ分ラナイ感ジガスルノデアリマス、今後は非不用ノモノハ御廢シニナリ、有用ナモノヲ更ニ御作リニナル、若シクハ委員會制度以外ノモノヲ御活用ニナリマシテ、出來ルダケ民間ノ者ヲ御取入

レニナツテ、一層努力サレルコトヲ希望シテ置キマス

○國務大臣(星野直樹君) 了承致シマシタ
○男爵大藏公望君 先程申シマシタ共管制度デアリマスガ、ドウモ共管制度ハ非常ニ大キナ累ヲナシテ居ルト思ヒマス、共管制度ハ、是ハ主務大臣ノ共管制度デアリマスガ、事實ハ主務大臣間ノ共管デハナク、其ノ下ノ官吏ノ間ニ管理セラレテ居ル、私ノ知ッテ居ル例モ相當アルノデアリマス、例ヘバ内務ト鐵道省トノ間ノ意見ガ一致シナイ、下ノ一事務官ト一事務官トノ間ノ意見ガ一致シナイ爲ニ、折角議會ヲ通ツタ法案ガ三年間モ抛ッテアツテ、實施ニ至ラナイト云フ風ナ實例モ承知シテ居ルノデアリマス、是ハ共管制度ノ弊デアリマス、此ノ官吏ノ意見ノ違ッタ時分ニハ一番始末ガイケンナイ、其ノ迷惑ハ誰ガ蒙ルカト言ヒマス、民間デアリマス、官吏ノ方ハ唯自分ノ意見ヲ言ッテ曲ゲナケレバ其ノ儘モノガ進マナイダケノ話デアリマスガ、民間ノ者ハソレニ依ッテ非常ニ迷惑ヲ蒙ル、官吏間ノ意見ガ違ッタ時分ニソレヲ裁定スル適當ナ制度ガ出來マスレバ……、若シウツチャツテ置ケバ「ドイツ」式ニ、幾日間カ經テバ有效ニナルト云フヤウナコトモ一方法デアリマセウ、何トカシテ民間ニ關スル問題デ、官吏間ノ意見ガ違ッタ時分ニ、ソレヲ直チニ解決スルヤウナ制度ガ出來マセヌト云フト、今日見タヤウナ共管ト云フ風ナ、法律ニ書上ゲテアルヤウナ制度ニ於キマシテハ、ドウシテモ民間ノ迷惑ハ止マナイノデアリマス、何トカ此ノ裁定制度ヲ御設ケニナリ、サウシテ官吏間ノ意見ガ相違シタ時分ニハ、幾日間ニ之ヲ解決スルト云フヤウナコトモ方法デアリマセ

ウ、何カ御考ガアツテ然ルベキダト考ヘルノデアリマスガ、如何デアリマセウカ
○國務大臣(星野直樹君) ソレモ御尤ノ御說デアリマス、現在デモ是ハ大體内閣官制ニモ確カソレニ關聯スル條項モアルノデアリマス、是モ最後ハ閣議ト云フモノノ働キト云フコトニ歸スルダラウト思ヒマス、併シソレ等ノ點ニ付テハ殊ニ内閣所屬ノ企畫院其ノ他ガ矢張り大キナ責任ヲ持ッテ居リマス、一ツ今後ソレ等ノ點ニ付キマシテハ實質的ニ左様ナコトヲ速カニ處理スルヤウナ方法ニ付キマシテ十分考慮致シマス
○男爵大藏公望君 行政機構ノ運用ニ關シマシテモウ一ツダケ御伺ヒシタイノハ、内地ノ經濟行政ノ統一ヲ缺イテ居ルコトニ付テデアリマス、農林省ト拓務省トノ間ノ争ヒ、又ハ拓務省ト厚生省トノ間ノ勞働問題ニ關スル意見ノ相違ト云フ風ナコトハ、隨分私共聽カサレタノデアリマスガ、殊ニ資源ノ獲得運用ト云フ風ナコトニ關シマシテ、ドウモ内外地ニ關スル經濟行政ノ一貫化ト云フコトガ一層必要ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ總理大臣ノ權限強化ト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、矢張り運用ニ委セズシテ、經濟ノ或部面ニ關シマシテハ、直接一貫シタ命令ガ執リ得ルト云フ風ニスル必要ガアルノデヤナイカト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒマス

○國務大臣(星野直樹君) ソレモ御尤ナ點デアリマス、是モ結局内閣官制ヲ讀ンデ見マスレバ、チャント決定スルヤウナ方法ハアル譯デアリマス、併シソレト同様ニ、行政トシテモ少シ速カニ處決スル、決定ヲスルヤウナ方法ヲ講ズル必要ガアルト思フ

ノデアリマス、現在サウ云フ點ニ付キマシテ、矢張り内閣所屬ノ企畫院其ノ他ノ職責ガ非常ニ大キイノデアリマス、十分此ノ點ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウナ日滿支ノ關係モ考慮シマシテ、更ニ内外地ノ關係ニ付キマシテモ、行政ガ圓滑ニ參リマスヤウニ考慮致シタイト存ジマス
○男爵大藏公望君 是デ行政機構ノ運用問題ヲ終リマシテ、次ニ官吏制度並ニ其ノ運用ノ問題ニ付テノ御尋ヲ致シマス、之ニ付キマシテハ度々私モ質問致シマシタシ、又諸氏ノ質問ガアリマスノデ、或ハ答辯ヲ繰返シテ願フコトハ煩瑣ニ互ルカモ知レマセヌガ、併シ非常ニ重要ナ問題ダト思ヒマスルノデ、改メテ一應御伺ヒシテ見タイト思フコトガ殆ド出來テ居ラスノデヤナイカ、謂ハバ吏道訓ト云フモノモ別ニナシ、官吏ハ採用サレタ後ニ、或者ハ現地ニ就テ多少ノ修練ヲ致シマス、サウシテ實地ノ仕事ハ敎ハリマスルガ、心構ヘト云フコトニ關シマシテハ自然ト體得スルト云フコトデアリマシテ、通り一遍ノ官吏ノ心得デアリマシテモ、本當ノ心構ヘ、殊ニ現在ノ新シイ時勢ニ對應スル心構ヘガ何等敎ヘラレテ居ラナイ、其ノ結果滿洲ニ參リマシテモ、日本カラ參リマシタ官吏ガ皆内地式ノ行政ヲヤツテ、滿洲ノ事情ニ即シナイヤウナコトヲヤルノモ、矢張り其ノ結果ダト思ヒマス、今後ハ大陸ト云フコトニ關シマシテモ亦官吏トシテノ心構ヘ、先般陸軍カラ戰陣訓ヲ出サレマシタガ、本當ニ武士ラシイ心構ヘト云フモノヲ示サレ、又ソレヲ作ル所ノ訓練修養ヲ致シマシテ、官吏ニナルト云フコトガ必要デハナイカ、單ニ新シイ者ヲ訓練スルノミナ

ハナイカ、單ニ新シイ者ヲ訓練スルノミナ

ラズ、現在居ル官吏ニ對シマシテモ、出來マスコトナラバ全部デアリマスルガ、已ムヲ得ナケレバ中堅ノ者ヲ再訓練スルト云フコトモ必要デハナイカ、確力陸軍ニハ、海軍モアルカモ知レマセヌガ、將官ニナツテモ矢張り演習ガ、常ニ新シイ將官トシテノ道ヲ訓練サレト云フ風ニ聽イテ居リマスルガ、文官ニ於キマシテハ何等サウ云フ方法ガナイ、殆ド訓練ト云フモノハ受ケズニ、唯銘々ノ思ヒノ儘ニ行ッテ居ルト云フノガ現狀デアルヤウニ思ヒマス、總力戰研究所ガ出來マシテ、官吏ノ訓練ヲナサルト云フ風ニ承ッテ居リマスルガ、是ハ今後採用直後ニ於キマシテ、若シハ既任官吏ニ對シマシテモ十分ノ訓練ヲ爲サルコトガ必要ト思ヒマスルガ、成ル程必要ダト云フ御答辯ヨリハ、ソレハ總力戰實行スルト云フ風ナ御答辯ヲ私ハ註文スルノデアリマス、サウ云フ御計畫ガ現内閣ニオアリニナリマセウカ伺ヒタイト思ヒマス、尙申シマスルガ、此ノ點ハ昭和十三年ノ第七十四議會ニ於キマシテモ矢張り質問致シマシタ、場合ニ依ッテハ官更大學ノ必要モ説イタノデアリマス、相當ニ近衛首相ハ考ヘテ居ルノダト云フ風ナ御答辯ガアツクヤウニ記憶シテ居リマス、附加ヘテ申上ゲテ置キマス

○國務大臣(星野直樹君) 其ノ點誠ニ御尤モナコトト考ヘマス、デ其ノ必要ハ十分認メテ居ル譯デゴザイマス、其ノ處置ト致シマシテハ、只今御話ニモ出マシタガ、總力戰研究所ト云フモノヲ設ケテ居リマス、之モ漸次ハ軍官民ノ各方面ノ先達ノ人達ヲ集メマシテ、而シテ將來各方面ノ中堅トナルベキ者ガ、自分ノ狭イ部局ノミナラズ、一般ノ部局ニ對スル知識ト云フモノヲ多ク知

ルト共ニ、眞ニ官吏ノ將來中樞タルベキ、マア謂ハバ色々ナ指導ト云フモノモ致シタイト存ジテ居ルノデゴザイマス、現在マダ出來マシタバカリデ、マア準備中ニ過ギマセヌガ、將來是等ヲサウ云フヤウナ意味ニモ活用致シテ行キタイト存ジテ居リマス、併シハマア限リガアルコトデゴザイマシテ、尙各部局或ハ各方面、各段階ニ應ジマシテ官吏ノ再教育ト云フコトニハ餘程力ヲ用フル必要ガアルト云フコトハ痛感致シテ居リマス、是非其ノ點ニ付キマシテハ具體案ヲ作リタイト考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 次ニ官吏制度ニ於キマシテハ、ドウモ官職ト待遇制度ガ固定シテ居リマシテ、或優秀ナ人ヲ上ゲル爲ニハ其ノ儘ニ置イチャイカヌ、他ノ全ク關係ナイ部局ニモ移サナケレバナラヌト云フノデ、常ニ經驗ガ役ニ立タズニ、新シイ優秀ナ人程新シイ無經驗ノ「ボスト」ニ置カレル、其ノ結果成績ガ擧ラナイノデヤナイカト云フコトガ屢、論議サレテ居リマスルガ、又一方其ノ爲ニ官吏ノ異動ニ非常ニ多クナッテ居ルト云フ風ニ思ヒマス、此ノ官職ト待遇制度ノ兩者ノ固定關係ト云フモノヲ打破シテ、適任者ヲ長ク一ツノ所ニ置クト云フ風ナ制度ニ改メル必要ガアルノデハナイカ、謂ハバ一ツノ位置ニ對スル「エキスパート」ヲ御設ケニナルコトガ非常ニ大事デハナイカト云フ風ニ考ヘマスルガ、其ノ點ニ付テ現内閣ハドウ云フ方針ヲ御執リニナッテ居ルカ、伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(星野直樹君) 御趣旨ハ非常ニ御尤モト思ヒマス、唯現在ノ官吏制度ニ於キマシテハ、是ハ勅任官、奏任官ト云フ違ヒハ、其ノ點ダケハゴザイマスルガ、併シ

或地位ニ相當長ク留ルト云フコトハ、現在ノ官制デアルトカ或ハ任用令、分限令其ノ他ノ關係デ非常ニ困難ナ譯デハナイト思ヒマス、是ハ寧ロ矢張り今迄ノ感情ノ情性ト云フヤウナコトガ多イノデヤナイカト思ヒマス、將來其ノ點ニ付テハ特ニ矢張り仕事、如何ナル事務モ其ノ事務ガ重大デアルト云フ風ナ考ノ下ニ、出來得ル限リ長ク一部局ニ、或部署ト云フモノニ留ラセルヤウニ、是ハマアドウシテモ運用デ行クヨリ仕方ガナイ、現在ノ制度モ多少改正ノ餘地ハアルカモ知レマセヌガ、大體今日從來カラ色々ナ改正ヲ施シマシテ、今日ニ於テハ此ノ點大キナ支障ハナイダラウト思フノデアリマス

○男爵大藏公望君 結局運用ノ問題ニナルノデアリマスルガ、運用ハ甚ダ謂ハハ拙デアリマシテ、今日迄役人ノ迭ルト云フコトノ苦シミヲ人民ガ嘗メテ居ルモノハ大シタモノダト思フノデアリマス、併シハマア下ノ役人ノミナラズ、上ノ役人モサウデアリマシテ、先般モ勘定シマスルト、過去一年半ノ間ニ鐵道大臣ト厚生大臣ハ六人迭ツテ居ル、一年半ノ間ニ六人モ大臣ガ迭ルヤウデハ、其ノ度ニ人事ガ動かサレテ連モ堪ラナイノデアリマス、大臣ハ迭リマシテモサウ國民ハ直接苦シミマセヌガ、殊ニ地方官若シハ國民ノ經濟ニ直接關係ノアル役ニ在ル者ガ動クト云フコトハ、非常ニ迷惑ナンデアリマシテ、ドウモ單ニ之ヲ運用ノ問題ニ委シテ置ク譯ニハ行カナイノデヤナイカ、何カ官制ヲ以テ若シハ内規ヲ以テ、少クトモサウ云フ風ナ官吏ハ一個所ニ二年置ク、三年置クト云フヤウニ内規デモ御作リニナルノガ宜イノデハナイカ、實ハ滿洲事變ガ起リマシタ當時ニ、餘リ

ニ關東軍ニ居ラル、武官ガ異動ガ激シクテ、是デハ方針ガ變ッテイカスト思ッテ、其ノ當時私ノ意見ヲ言フタノデアリマス、其ノ當時ハソレデ矢張り陸軍ノ方ハ大體一年半若シハ二年居ラレタ、處ガ文官ノ方ハ一年半、二年ノ方ガ長イノデ、短カイノガ非常ニ多イノデアリマス、私ノ關係シテ居リマス所デモ澤山ノ實例ヲ持ッテ居リマスルガ、半年、一年足ラズデ迭ラル、人ガ非常ニ多イノデアリマス、ソレデ總動員法ミタヤウナ大事ナ仕事ヲ政府ニ御委セシ切レルカト申シマスルト、マア上ノ方デハ大丈夫ト申シマシテモ、實際運用ヲヤッテ居ラレル下ノ官吏ニ委セ切レナイト云フ氣分ガ民間ニ漲ッテ居ルト考ヘマス、矢張り運用ニ依ラズシテハ制度ヲ御考ニナル必要ハナイカ、内規デモ宜シイ、御考ニナリマシテ大體ノ標準ヲ御決メニナルコトガ、此ノ際極メテ必要デハナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、如何デアリマセウカ、只今直チニ必ズ内規ヲ決メルト云フコトノ御返事ハムヅカシイト思ヒマスルガ、併シナガラサウ云フ氣分ヲ御持チ下サルコトガ極メテ必要デハナイカ、何トカシテ官吏ノ餘リ頻繁ナル異動ハ止メサセルノダト云フコトヲ御考ニナリマシテ、單ニ運用ニ委セルニ非ズシテ、モウ少シ具體的ニ御決メニナルト云フ御氣分ハナイカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(星野直樹君) 誠ニ御尤モト思ヒマス、ソレハ誠ニ官吏、官廳ノ一番大キナ弊害ノ一ツデアルト思ヒマス、御趣旨ノ點能ク一ツ考慮致シマシテ、出來ルダケ實效ヲ擧ゲルコトヲ圖ルヤウニ考ヘタイト思ヒマス

○男爵大藏公望者 次ニ御伺ヒシタイノハ、

官吏ニ對スル監察制度デアリマス、今日確
カ内務省ト鐵道省トニ監察官ガアルヤウデ
ス、其ノ成績ガ舉ツテ居ルカドウカ知リマセ
ヌガ、ドウモ今迄ノ官吏ノ大部分ヲ見マス
ルト、ナカノ中庸ヲ得ル人ハ少クテ、事
勿レ主義ノ人カ若クハヤリ過ギノ人カ、ヤ
リ過ギル人ハ少イノデ、事勿レ主義ノ人ガ
大部分デアルト云フ状態デアツテ、謂ハバ保
守退嬰ノ氣分ガ多ク、而モ何モヤラスデ居
レバ段々ニ上ツテ行ク、ヤリ過ギレバシクジ
ルト云フノデスガ、寧ロヤリ過ギル人ノ方ガ
勇氣ガアツテ感心ダト思フ、其ノ程度デ以テ
今後ノ經濟情勢ト云フモノヲ全部任サレ
ト云フコトヲ考ヘマスルト、ドウモ私共矢
張り不安デアル、拙イ官吏ニハ相當ノ罰ガ
アツテ宜シイ、非常ニ働イタ者ハ相當ノ賞ガ
アツテ宜シイ、先般衆議院ニ出マシタヤウナ
信賞必罰ト云フコトヲヤル爲ニハ、果シテ
ドノ官吏ガ能ク働イテ居ルカ、ドノ官吏ノ
成績ガ舉ラヌカト云フコトヲ御調ベニナル
必要ガアルノデヤナイカ、ソレヲ所謂直屬
長官ニ任シテ置キマス、謂ハバ最良目デ
アリマス、公平ナ監察ガドウシテモ出來
ナイ、矢張り全面的ニ監察制度ヲ御設ケニ
ナル必要ガアルノデヤナイカ、斯ウ考ヘテ
參ルノデアリマスガ、何カサウ云フ點ニ付
テ御考慮中デモアリマセウカ、伺ヒタイノ
デアリマス

○國務大臣(星野直樹君) 監察ト云フ制度

ハ、理窟カラ言ヘバ非常ニ宜イコトナンド
ゴザイマスガ、ドウモ矢張り監察ノ人ヲ得
ルト云フコトガムツカシク、又其ノ影響ガ
必ズシモ好クナイ場合ガアルノデアリマシ
テ、官廳ノ全部ト致シマシテハ、原則ハ矢

張り只今御話ノヤウナ本屬長官ノ意見ヲ採
ル、ソレヲ矢張り形式化スルノヲ出來ルダ
ケ防ギマシテ、實質的ニスル、其ノ趣旨ト
云フモノヲ強クシ、活力アリ、彈力アルモ
ノニスルト云フノガ一番デヤナイカト思ヒ
マス、是ハ滿洲ナンカデモ、私達ノ狭イ經
驗デアリマスガ、監察ト云フモノヲ色々ヤ
テ見マスルガ、マア是ハ多少ノ效果ハゴザ
イマスルガ、又ソコニ相當ノ弊害ヲ生ズル
向モゴザイマシテ、結局ハ監察ノ制度ト云
フモノモ勿論考慮致サナイトハ申シマセヌ
ケレドモ、矢張り官吏ノ本當ノ信賞必罰ノ
制度ヲ明カニスルト云フコトハ、結局ハ本
屬長官ヲ通ジテノ意見ト云フモノヲ彈力ア
リ、活力アルモノニスルノガ一番デヤナイ
カ、斯ウ存ジテ居リマス

○男爵大藏公望者 御話ノ通りニ監察制度

ニハ相當ノ弊害ガアルヤウニ私モ考ヘマス、
唯監察制度ノ弊害ト現在ノ官吏ニ對シテ信
賞必罰ノ甚ダ明カデナイト云フ風ナコト、
竝ニ民間カラ見マシテ、ドウシテアンナ無
茶ナコトヲヤツテ居ル官吏ガ其ノ儘置イテ
アルノカヲカシイデヤナイカト云フ風ニ考
ヘマシタ時分ニ、監察制度ガアリマシタナ
ラバ監察制度ニ訴ヘル途モアルノデアリマ
スガ、直屬長官デアレバ直グ採ミ潰ス、無
論何事ニモ弊害ハ必ズ伴フノデアリマス、
決シテ萬全ノ策トハ申シマセヌガ、今日民
間ノ要望シテ居ル問題ハ、信賞必罰ノ問題
デアリマス、デアリマスカラ弊害ハアリマ
セウガ、其ノ弊害ヲ成ルベク除去シテ、兎
ニ角アノ制度ガアルノデ明カニナツテ居ル
ノダト云フ安心ヲ與ヘルト云フコトモ、政
治上カラ申シマシテ大事ナ點ダト思フノデ
アリマス、單ニ監察制度ノ弊害ヲ御考ヘニ

ナリマシテ、監察制度ハイカスト云フ御議
論ニハナラヌト思フノデアリマス、信賞必
罰ヲ明カニスル爲ニハ、ドウ云フ風ニスル
ノガ宜イカト云フコトカラ、斯ウ云フ制度
ノ一端モ御考ヘニナルベキデヤナイカ、若
シ其ノ間ニ弊害ガアリマスレバ、其ノ弊害
ヲ除去スルコトニ御努力ヲナサルベキデヤ
ナイカト云フ風ニ私考ヘマス、是ハ矢張り
政府ノ民心收攬ト言フトカシナ言葉デア
リマスガ、民間ニ對シテ協力ヲ示ス立場ニ
於テ、政治的ニ御考ヘナサルベキデナイカ
ト考ヘルノデアリマス、今御話ノ中ニ考ヘ
テハ見ルト云フ御話デアリマシタノデ、十
分御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(星野直樹君) 決シテ絶對的ニ

ソレハヤラスト云フヤウナコトデハナイノ
デゴザイマス、十分考慮致シタイト思ヒマ
ス、唯矢張り本筋ハ本屬長官ノ意見ト云フ
モノニ活力、彈力ヲ與ヘルコトガ一番ダト、
斯フ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス
○男爵大藏公望者 マダ多少伺ヒタイコト
モアリマスガ、餘リ私一人デヤツテハ何デ
アリマスノデ、官界新體制ニ對スル質問ハ
大體是デ終リタイト思ヒマスルガ、只今私
ガ伺ヒマシタ通りニ、私ガ申上ゲマシタ諸
種ノ官界ニ對スル缺點ト云フモノハ、殆ド悉
ク國務大臣ガ御肯定ニナリマシテ、御尤モ
ト云フヤウナ御答辯デアリマシテ、私ハ非
常ニ満足ニ思フト同時ニ、残念ニ思フノデア
リマス、斯ウ云フ諸種ノ官界ニ於ケル缺陷
ガアリマスルト云フコトハ、非常ニ残念デ
アリマスルガ、事實アルカラ已ムヲ得ナイ、
是非共之ヲ御直シニナラナレバ、本當ニ
官民協力ノ態勢ハ整ヘ得ラレナイト考ヘマ
スノデ、私ハ一日モ早く政府ガ、私ガ殊

ニ一番初メニ質問申上ゲタヤウニ、御肯定
ニナリマシタコトハ實行スルト云フ心構ヘ
ニ於テ御返事ヲ願ヒタイト申シマシタノデ
アリマスルガ、只今ノ御返事ヲ一日モ早く
御實行願ヒタイノデアリマス、ソレデ最後
ニ一ツ私ハ總理大臣ニ伺ヒタイノデアリマ
ス、直チニ星野國務大臣ニ御伺ヒスルト
云フノハ無理デアリマスルガ、御取次願
ヒタイト思ヒマスルノハ、政府ハ既ニ先
程讀上ゲマシタヤウニ、官界新體制ノ確立
ト云フコトヲ其ノ基本國策ニ御表明ニ
ナリ、又樞密院ノ會議邊リノ後ニ於キマシ
テモ、何カ新シク委員會デモ作ツテ大イニ
ヤルノダト云フ風ナコトガアツタヤウニ拜
承シテ居リマスルシ、又昨今官界新體制ニ
關シマシテハ、民間ノ殆ド各方面カラ熱心
ナ聲ガ出テ居リマスノデ、政府ハ何時
ソレヲ御實行ニナルノカ、是ハ何月幾日ト
云フコトヲ申上ゲルノハ無理デアリマセウ
ガ、少クトモ政府ガ實行スルト云フ意思ヲ
表明ニナル爲ニ、直チニ或ハ委員會ヲ御作
リニナルナリ、或ハ何カノ御聲明ヲ御出シ
ニナツテ、サウシテ官界新體制ノ確立ト云
フモノニ對シテ、熱意ヲ示サレルコトガ必
要デナイカト考ヘマス、政府ハ議會ノ直後
邊リニ於キマシテモ、直チニ官界新體制ニ
關スル委員會ヲ御設ケニナリマス御考ガア
リヤ否ヤ、又ハ之ニ代ルベキ適當ナ處置ヲ
御執リニナリマスカドウカト云フコトニ關
シマシテ、是ハ總理ト御協議ノ上ハッキリ
シタ御返事ヲ願ヒタイト云フコトヲ切望シ
テ置キマス、ドウカ然ルベク御取計ヒテ願
ヒタイト思ヒマスルシ、又ドウカ委員長ニ
於カレマシテモ、其ノ御返事ガ成ルベク早
ク參リマスヤウニ御骨折ヲ願ヒタイコト

ヲ御願ヒシテ置キマス、官界新體制ニ對スル私ノ質問ハ是デ打切りマシテ、他ニ經濟方面ニ關シテ種々アリマスルガ、餘リ私バカリ質問申上グルノモ如何カト思ヒマスノデ、又皆様が御質問ニナラナカッタ其ノ時ニ御伺ヒスルコトニシテ、一應是デ打切りマス

○八田嘉明君 私モ此ノ改正案ニ對シマシテ色々御質問申シタイコトガアリマスルガ、只今大藏委員カラ官界新體制ニ關シテ官吏制度並ニ行政機構ノ改革等ニ對シテ御質問ガアリ、又當局ヨリ御答辯ガアッタノデアリマスガ、之ニ關聯シタコトダケ極ク簡單ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、御差支ゴザイマセヌカ

○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイマス

○八田嘉明君 只今官界新體制ノコトニ關シテ可ナリ詳細ニ互ッテ質問應答ガアリマシタノデアリマスガ、此ノ經濟問題ニ付キマシテ特ニ只今チヨット大藏男爵カラモ御述ベニナリマシタルヤウニ、民間各方面ニ於テハ之ガ何時出來ルカト云フコトニ對シテ非常ニ關心ヲ持ッテ居ルノデアリマス、何レ只今ノ大藏男爵ノ御要求ニ依リマシテ總理大臣ヨリハッキリシタ御答アルト思フノデアリマスルガ、併シ大體常識的ニ考ヘテ之ガ何處カラ手ヲ著ケテ行カレルカ存ジマセヌガ、相當ノ時日ガ掛ルモノデハナイカト考ヘルノデアリマス、即チ今日只今具體的ニ決定案ガ出來タト致シマシテモ、ソレガ實行ニ移サレテ、世人ガ要望シテ居リマシタルヤウナ官界新體制ガ直チニ具體的ニソコニ動イテ參ルト云フノニハ、相當ノ期間ガアルノデハナイカ、然ルニ事態ハ極メテ

緊迫シテ居ッテ、此ノ國家總動員法ノ改正ガ茲ニ提出サレタ譯デアラウト思ヒマスルカラ、少クトモ目前ニ横ッテ居リマスル所ノ實際問題トシテハ、其ノ中デ是々ダケハ是非ヤラナケレバナラヌト云フ問題ガアラウト考ヘルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ尙伺ヒタイノデアリマスガ、私が只今特ニ御伺ヒ致シタイノハ、何レニ致シマシテモ此ノ官界新體制ガ、其ノ具體的ニ實行ニ移ル迄ニハ、假令政府ニ非常ニ御決心ガアッタト致シマシテモ、相當ノ時日ガ掛ルトスルナラバ、少クトモ官民協力ト云フコトニ依リマシテ、ソレヲ最モ力強ク具體的ニ實行スルコトニ依テ餘程其ノ點ガ補ハレルト申シマスカ、效果的ニナルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、只今星野國務大臣カラ御答ノ中ニモ官民協力ト云フコトヲ御述ニナリ、又此ノ改正案ノ狙ヒ所モ官民協力ト申シマスカ、國民舉國協力ノ爲ニアルト云フヤウナ御趣旨デアラウト考ヘルノデアリマス、付キマシテハ此ノ國家總動員法ニ關スル限リニ於キマシテ、最モ官民協力ノ具體的方法トシテ現ハレテ居リマスルノハ、既ニ今日アリマスル國家總動員會議會ナルモノデアリマスルガ、現行法ニ於テハ所謂總動員物資、或ハ總動員業務ニ限ラレテ居リマスルガ、改正案ニ依リマスルト、非常ニ廣クナルノデアリマシテ、見ヤウニ依ッテハ有ラユル經濟活動ニ之ガ適用サレル場合モアラウカト考ヘルノデアリマス、從ッテ此ノ審議會ノ、何ト申シマスカ、構成或ハ内容ト云フモノニ付キマシテ、取敢ヘズ之ヲ改正案ノ趣旨ニ依リ官民協力ノ實ヲ舉ゲルヤウニ改正サレルト云ヒマスカ、擴充サレルト云フカ、適正化スル

ト云フカ、サウ云フコトガ直ニ必要ダト思フノデアリマスルガ、之ニ付キマシテ政府ト致サレマシテ具體的ニドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居リマスカ、其ノ點ヲ尙御伺ヒ致シタイ、斯ウ思フノデアリマス、尙附加ヘマスガ、私ノ記憶デハ現在ノ總動員審議會ガ出來マシタ當時ノ考ヘ方ト致シマシテハ、所謂議會ノ延長ト申シマスカ、ト云フヤウナ點カラシテ、主トシテ其ノ構成サレテ居ル所ノ委員等ハ議員ガ大部分デアルト考ヘルノデアリマス、併シ今回ノ改正ニ伴ヒマシテ可ナリ廣イ經濟活動、國家ノ經濟活動ニ擴大サレルノデアリマスルカラサウ云フ點カラシテ格別之ニ對シテ適正ナラシムル、即チ官民協力ノ實ヲ舉ゲルヤウナ方法ニ爲サル必要ガアルノデハナイカト考ヘマスシ、又當局ニ於テモ御考ヘデアラウト信ズルノデアリマスルガ、此ノ場合趣旨ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(星野直樹君) 只今ノ御質問ニ御答ヘ申上ゲマス、總動員審議會ガ今回ノ改正ノ結果、非常ニ其ノ意義ノ重大サヲ増シ、又活動ノ範圍ガ廣クナルト云フコトニ付テハ御話ノ通りデアリマス、從ヒマシテ之ガ構成、又實際ノ審議會ト云フモノノ運用ト云フコトニ付キマシテ、十分ノ考慮ヲシナケレバナラヌト云フコトモ、是モ誠ニ事實デゴザイマス、ソコデ構成ニ付イテデゴザイマスガ、是ハ御承知ノ通り此ノ本總動員法ト云フモノノ施行ト云フモノガ、所謂立法權ト云フモノト、非常ニ關係ノアルト云フコトモ考慮セラレ、又議會、兩院ノ詰リ、我が國ニ於キマスル各方面ノ先達、代表ノ御方々ガ入ッテ居ラレルト云フコトモ考慮セラレタノデアラウト思ヒマスガ、現

在貴衆兩院ノ御方ガ大部分ヲ占メテ居リマシテ、現在五十名ノ中ニ二十名御占メニナッテ居リマス、之ニ付キマシテハ勿論先程御話ノヤウニ今回總動員法ノ改正ニ伴ヒマシテ、範圍ガ廣クナリ、又内容モ非常ニ深刻ニナッタノデゴザイマスガ、併シ是ハ矢張り中心ガ貴衆兩院ノ先達ノ方々カラ成ルト云フコトハ、是ハ矢張りソレガ宜イノデハナイカト存ジマス、其ノ點ニ付キマシテ今回ノ改正ニ依リマシテ、改正スルト云フコトデハナイ、是ハ現在ノ形デ官民協力ト云フ形ガ十分取レテ居ルト思ヒマス、尙併シ只今ノ御話ノヤウニ色々經濟界ニ觸レルコトガ多イノデアリマスカラ、其ノ點ニ付キマシテハ、現在ノ總動員審議會ニハ御承知ノ通り臨時委員ト云フ制度ガ設ケテゴザイマス、ソレハ斯クノ場合ニ於テソレノ先達、經驗者ト云フ者ニ臨時委員ヲ御願ヒシテ十分ニ審議ヲ盡ス、其ノ臨時委員ノ制度ト云フモノヲ活用致シマシテ、現在迄ハ比較的臨時委員ノ制度ヲ用ヒテ居リマセマスガ、將來ハ此ノ臨時委員ノ制度ヲ活用致シマシテ、出來得ル限リ關係各方面ノ經驗學識ヲ有セラレル方々ノ御意見ヲ取入レルト云フコトニ努メタイト、斯ウ存ジテ居リマス、尙人數ノコトデゴザイマスガ、是ハ現在五十名ト云フコトニナッテ居リマシテ、此ノ外ニ臨時委員ト云フ者ヲ加ヘマスルト、相當ノ數ニモ上ルコト存ジマス、果シテ委員會ト致シマシテ、五十名ト云フ人數ヲ更ニ殖ヤスノガ宜イカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ自ラ委員會ヲ運用ノヤリ方モゴザイマスノデ、政府トシテハ今ノ所直チニ殖ヤスガ宜イカト云フコトヨリハ寧ロ臨時委員ト云フ制度ヲ活用シタ方が宜

イノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ其ノ
ヤリ方ニ付キマシテハ大イニ改メナケレバ
ナラヌ點ガアルト思ヒマス、唯改メナケレ
バナラスト云フコトハ、從來ニ於キマシテ
モ總動員會議ト云フモノハ、割合ニ短イ
時間デハゴザイマスルガ、官民ノ間ガ誠ニ
完全ナ心持ノ一致ト云フヤウナコトガ行ハ
レマシテ、非常ニ圓滑ニ又有效ニ運用サレ
テ居ルコトト存ジテ居リマスルガ、併シ更
ニ今回ノ改正ニ伴ヒマシテ、其ノ職務モ増
スコトデアリマスルガ故ニ、更ニ十分委員
各位ノ御經驗、或ハ御意見ト云フモノヲ盡
スヤウナ方法ヲ講ズルト云フコトヲ、ソレ
ゾレ私ノ方デモ考慮シテ居ルヤウナ事情
デゴザイマス

○八田嘉明君 了承致シマシタ

○委員長(子爵前田利定君) 時間ガ參リマ
シタカラ、今日ハ都合ニ依リマシテ此ノ程
度デ會ヲ閉デマシテ散會致シタイト思ヒマ
ス、明日ハ午前十時カラ開會致シマシテ、
午後ニ互ル考デ居リマス、ドウカ左様ニ御
了承願ヒタイト思ヒマス、今日ハ是デ散會
致シマス

午前十一時五十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵前田 利定君
副委員長 男爵大井 成元君
委員

公爵島津 忠重君
侯爵前田 利爲君
侯爵西郷吉之助君
伯爵橋本 實斐君
子爵大河内正敏君
子爵岡部 長景君
水野鍊太郎君

國務大臣

國務大臣 星野 直樹君

政府委員

企畫院次長 小畑 忠良君
企畫院部長 柴田彌一郎君
同 竹内 徳治君
商工省總務局長 椎名悦三郎君

犬塚勝太郎君

宇佐美勝夫君

八田 嘉明君

藤原銀次郎君

男爵中川 良長君

男爵大藏 公望君

白根 竹介君

男爵矢吹 省三君

男爵渡邊 汀君

堀切善次郎君

小坂 順造君

岩田 宙造君

中山 太一君